



A あ O お B ば A

千葉市立青葉病院
広報紙

Vol.37

令和6年12月1日発行
(年2回発行)

わかりやすく納得のいく医療を 心のこもった笑顔で



発行/千葉市立青葉病院 〒260-0852 千葉市中央区青葉町1273-2 TEL.043-227-1131(代) FAX.043-227-2022 <https://hospital.city.chiba.jp/aoba/>

なおり部長が看護部をご案内します!



青葉病院の看護師は、実は病院の外でもさまざまな活躍をしています。今回は、「地域での看護」「災害活動」「看護師育成」など地域で活動している内容の一部をご紹介します。

皆様が住いの地域で、一緒に



退院前訪問

入院中の患者さんが、ご自宅に退院された後も安心して療養生活が送れるよう、医師の指示があった時、患者さんの退院前に、看護師や地域連携室スタッフが、ご自宅にお伺いします。病院とご自宅とでは、環境的に異なる部分が多いことがあり、過ごし方が変わってきます。退院後のご自宅での生活で、患者さん・ご家族が困ることがないか、不便なことや改善したほうがよさそうなことはないか等、みんなで一緒に考え、療養環境を整えていきます。

市民公開講座

青葉病院には、12分野の専門・認定看護師、特定行為看護師、その他専門的な知識や資格をもった看護師が数多くいます。

その知識や技術、情報などを、市民の皆様の健康にも役立てていただくために、看護師が講師となって、市民公開講座を開催しています。今後も健康や医療に関する知識・情報を、積極的に発信していきたいと思っています。

機会があれば、ぜひご参加ください。お待ちしております。



自分も相手も守るために ～災害時の強い味方～

青葉病院は、平成29年に地域災害拠点病院の認定を受けています。

DMAT(災害派遣医療チーム) DPAT(災害派遣精神医療チーム)

地域災害拠点病院とは、県内や近県で災害が発生し、通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を提供することが困難な場合に、都道府県知事の要請で、傷病者の受け入れやDMATの派遣を行う病院です。

チームには専門的な研修を受けた看護師が所属しており、実際に、2019年に千葉県で発生した台風15号ではDMATが患者搬送のために出動しています。



地域災害拠点病院の看護師として、地域活動にも貢献しています。



災害に関する出前講座

災害があった時は、発災直後の支援とともに、日常生活を取り戻すための支援も重要となります。その取り組みのひとつとして、感染管理認定看護師が「避難所における感染症流行の事例」や「手洗い、トイレの環境整備、移住環境の整備」など、皆様の生活を守るための情報や知識をお伝えしています。他にも学校や公共施設で、災害に関するご希望の出前講座や活動のご要望があれば、ぜひ看護部までご相談ください。

災害支援ナース

日本看護協会と都道府県看護協会とが連携し、大規模自然災害発生時に災害ナースを派遣して、災害時に看護支援を行う活動をしています。

青葉病院でも、千葉県看護協会の災害支援ナースに登録している看護師が在籍しており、過去には被災地に看護師を派遣しました。

災害時の感染症対策

【ポイント】

1. 手洗い
2. トイレの環境の整備
3. 居住環境の整備



研修の内容

「被災によって日常から非日常へ」

- ・ 災害、避難所における感染症流行の事例
- ・ 事例からわかる感染対策のポイント
 - 手洗い
 - トイレの環境整備
 - 居住環境の整備
- ・ 災害時に流行が考えられる感染

トイレと調理場の管理



⑤ トイレ周辺がぐちゃぐちゃに濡れている。だから、靴を脱ぐのが嫌で、靴のまま居住エリアに入っていく。トイレを徹底的に消毒する。さらにトイレのそばに調理場があることがわかった。

⑥ 建物から10m先のところまで場所が取れそうなので、そこに炊き出し場を作ることにした。排溜と食事のスペースを分離する。



活躍中の看護師のため、 そして未来の看護師のためにも



ICLS

【Immediate cardiac life support】

ICLSコースとは、医療従事者のための蘇生トレーニングコースのことをいいます。これは、突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生の能力習得を目標としたシミュレーション研修です。青葉病院では、インストラクターの資格をもった看護師たちが他職種とともに、年1～2回のペースでICLSコースを開催しています。

参加者の約7割は看護師であり、医師やコメディカルスタッフと一緒に、1日かけて二次心肺蘇生を学んでいます。急性期病院の看護師として、主体的に心肺蘇生の知識・技術を身につけようとするだけでなく、教えるスキルも習得したいと、受講後にはインストラクターを目指すスタッフもいます。

この研修は、院内だけでなく、院外の医療従事者の方も受講可能です。ご興味のある方は、青葉病院でキラキラ光る素敵な看護師たちとスキルアップを目指してみませんか？

ふれあい看護

高校生を対象に、ふれあい看護体験を行っています。実際に白衣に身を包み、看護師と共にさまざまな体験をすることは、高校生の皆さんにとって、貴重な経験となるようです。

医療や看護に興味のある学生さんは、是非、青葉病院を訪れてみてください。お会いできることを楽しみにしています。



「登録医」のご紹介

まくはりコーラス内科

住所: 〒261-0026 千葉県千葉市美浜区幕張西4-2-12 イオンタウン幕張西2階

診療科: 内科・糖尿病内科・内分泌内科

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00～12:30	●	●	●	—	●	●	—	—
14:20～18:00	●	●	●	—	●	—	—	—
13:30～16:00	—	—	—	—	—	●	—	—

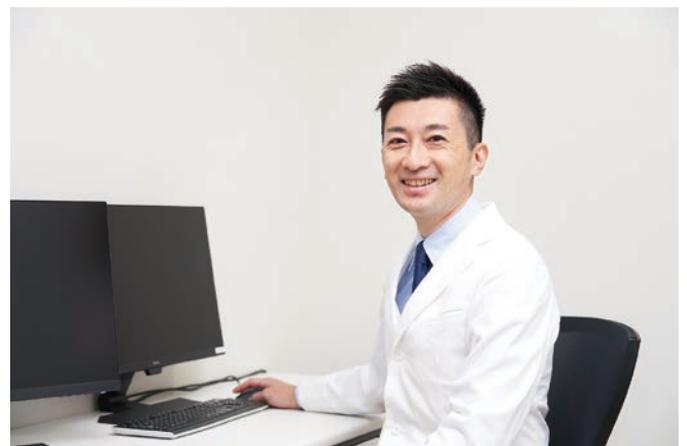
- ◆一般外来は平日9:00～12:30、15:00～18:00 土曜9:00～12:30、13:30～15:30
- ◆発熱の外来は平日14:20～15:00 土曜15:30～16:00
- ※発熱の外来は電話予約必須(当日朝8時40分受付開始)
- ※受付は診察終了の30分前まで
- ◆休診日: 木曜、日曜、祝日

この度新しく青葉病院の登録医に認定していただきました、まくはりコーラス内科院長の西村明洋と申します。

青葉病院の先生方には精密検査が必要な患者さんや緊急の対応が必要な患者さんを多数お引き受けいただき、いつも大変感謝しております。私も登録医として少しでもお役に立てれば幸いです。

さて、当院は私が糖尿病専門医・指導医、内分泌代謝科専門医・指導医であることから、主に糖尿病や脂質異常症、高血圧症などの生活習慣病患者さんや、甲状腺疾患の患者さんを拝見しております。糖尿病については予備軍の段階から専門性の高い治療が必要な患者さんまで、ほぼすべての患者さんに対応可能です。インスリン療法や持続血糖測定器、インスリンポンプ療法、SAP療法(インスリンポンプと持続血糖測定器を組み合わせた治療法)の外来導入にも対応しておりますので、遠慮なくご相談ください。

また、糖尿病などの生活習慣病は定期的な通院が必要となることが多く、患者さんとも年単位でのお付き合いになることが大半です。そして、その間に定期通院されている病気とは別の大きなご病気が見つかることも稀ではありません。そのような場合には青葉病院の先生方としっかりと連携をとり、地域の患者様の健康維持に貢献できれば幸いです。



「登録医」とは、青葉病院では千葉市セミオープンシステムに登録していただいた地域の医療機関です。セミオープンシステムとは、紹介により千葉市立青葉病院に入院した患者さんについて、診察・記録の閲覧を行うことができるというシステムです。

